

## 【授業科目】コミュニケーション論

担当教員	開講年次	選択必修	単位数	時間数	授業形態	オフィスアワー	教職員への授業公開
萩 典子、大西 信行	1年次前期	必修	2	30	講義	巻末掲載	否
授業概要 (内容と進め方)	<p>授業概要／コミュニケーションについて基本的な構造を学習する。                      実際のロールプレイを実施し、その体験をプロセスレコードにして、自分のコミュニケーションの過程を振り返り自分を知る手がかりにする。そしてよりよいコミュニケーションを作るための効果的な交流を学習できるようにする。                      課題に対するフィードバック方法／毎回振り返り表を学生が記入し、学習状況を把握しコメントを入れる。個人のプロセスレコードにコメントを記入する。全体にもまとめとして講義時間内にフィードバックを行う。</p>						
授業の位置づけ	<p>本学のディプロマ・ポリシー②「人間として自己の成長に努め、社会人として広い見識と確かな倫理観を持ち、臨床検査の対象となる人々に愛情豊かに共感をもって接することができる。」の達成に寄与している。</p>						
到達目標 (履修者が到達すべき目標)	<p>①コミュニケーションとは何か、その意味や必要性、重要性について考えることができる。                      ②コミュニケーションという人間活動に関する基本的な考え方について理解し、自己を振り返る手がかりが得られる。                      ③コミュニケーションの基本的な知識と技術を知り他者との関係を創る基本的な態度を修得する。</p>						
時間外学習に必要な学修内容および学習上の助言	<p>第1～9回 学んだ内容を自己の生活の中でどのように適応できるかを振り返る (各30分)                      第10～11回 事前学習: 演習にむけて、ロールプレイが実施できるように講義資料を整理しイメージトレーニングしておく (各30分)。                      第12～13回 実際のロールプレイを振り返り、自己の課題を考え次回のロールプレイに生かせるように練習を行う (各30分)。                      第14～15回 事例を基に実施したロールプレイをプロセスレコードにおこし、振り返りの視点にそって、振り返りを行う (各60分)。                      ※上記時間については、指定された学習課題に要する標準的な時間を記載してあります。日々の自学自習全体としては、各授業に応じた時間 (2単位15回科目の場合: 予習+復習4時間/1回) (1単位15回科目の場合: 予習+復習1時間/1回) (1単位8回科目の場合: 予習+復習4時間/1回) を取るよう努めてください。詳しくは教員の指導に従ってください。</p>						
授業計画	<p>第1回 コミュニケーションとは                      第2回 コミュニケーションとストローク                      第3回 アサーション                      第4回～7回 様々な場でのコミュニケーション GW・プレゼンテーション</p> <p>第8回 自己理解・他者理解                      心のあらわれ、心のなりたち 自己の振り返りについて</p> <p>第9回 実践とコミュニケーション                      コミュニケーションの技術・傾聴の技術                      自己の振り返り プロセスレコード                      ロールプレイの進め方、プロセスレコードの書き方、ICレコーダーの使い方の説明、シナリオの説明。</p> <p>第10～11回 ロールプレイ①                      ロールプレイを体験する、グループで振り返りを行い自己の課題について考える</p> <p>第12～13回 ロールプレイ②                      事例をもとにロールプレイを行う                      数名でグループをつくり、看護者、患者、観察者の役割を体験し、ICレコーダーに録音し、プロセスレコードを作成する。</p> <p>第14回 プロセスレコードの作成と振り返り</p> <p>第15回 作成したプロセスレコードのフィードバック                      全体の振り返り</p>						全て 萩、大西
評価方法 評価基準	ロールプレイ 40%、プロセスレコード 40% 講義/GW 態度 20%						
教科書	なし		参考書等	なし			
学生へのメッセージ	<p>私たちは一日中コミュニケーションして情報をやり取りし、お互いに影響し合ったりしています。コミュニケーションは世界を知る手がかりです。このコミュニケーションの力を高め使えるように一緒に学びましょう。コミュニケーションは生きた世界をあつかいます、演習に出席して実際に体験することが最も重要です。</p>						